

- 森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や球磨川上流域等の森林を主体として、引き続き、間伐等の森林整備を推進。
- また、森林整備を効率的・効果的に進めるため、森林経営管理制度の活用や施業技術の実証・普及等を併せて実施。

○流域治水の取組として、林業地である球磨地域の特性を踏まえつつ、山地災害危険地区や重要インフラ施設の周辺、河川上流域等を対象に、間伐や再造林等の森林整備による健全な森林づくりを推進。

○奥山等では、林業経営に適さない森林等を対象に、強度間伐等による針広混交林化等、多様な森林づくりを推進。



間伐の実施状況



間伐前の森林

間伐後の森林



確実な再造林に向けたシカ捕獲の推進、防護柵の設置



針広混交林化が進んだ森林

## 森林整備を促進する取組

○適切な経営管理が行われてこなかった民有林を対象に、市町村が仲介役となって森林整備を推進する森林経営管理制度を積極的に活用。

市町村担当者と森林所有者が経営相談を行っている様子



○森林整備を進めるため、造林作業等の省力化・低コスト化に向け、新たな技術等の実証・普及を推進。

- (左)ドローンによる苗木運搬の効率化に向けた実証状況
- (右)育成された成長が早く保育作業の省力化が期待できる品種(特定母樹)

